

祭事暦

7月1日・20日 午前8時30分  
 月次祭  
 7月15日 午前8時30分  
 浜降祭古式祭  
 午後8時  
 浜降祭前夜祭  
 7月16日 午前7時  
 浜降祭(於南湖浜)  
 7月17日 午前11時  
 虫送り祭



発行所  
 寒川神社社務所

〒253-0195  
 神奈川県  
 高座郡寒川町宮山3916  
 電話 代表0467(75)0004

編集者 水谷智賢  
 印刷所 樹さんこうどう



今年も早いもので半年が過ぎ、雨の季節がやって来た。御本殿の奥にある神嶽山神苑では、梅に始まり桜や菖蒲など季節ごとに花が咲き、新緑の頃はやわらかい若葉にやさしい日の光が差し、紅葉の頃は木々が色を変え神苑が一年で最も賑やかな季節となる。今の時期は茶屋から見る雨の神苑が美しい。抹茶を飲みながら水の音、鳥の声を聞き、何も考えずに景色を見てみると、普段の生活を一瞬忘れる。お茶は元々日本にはなく奈良時代、中国から日本に渡来したもので、始めは薬として飲まれていた。貴族や僧侶、武士などの中で次第に広まっていき、中国とはまったく違う日本独自の文化に変化していく。鎌倉から室町時代、武家階級では京都の梅尾でとれるお茶を本茶、その他の土地でとれるお茶を非茶として飲み分けて点数を競い、そこに豪華な品を贈ける一種の賭博が行われる。やがて村田珠光や武野紹鷗の出現により、これまでの華やかで贅沢なものから、簡素で落ちついた「わび茶」に変化していき、千利休により大成する。秀吉は、利休を戦場に連れて行き茶を点てさせた。緊張を和らげ、落ちつかない心を鎮め一時一碗のお茶に安らぎを求めたのであろう。

現在の私達は紅茶やコーヒー、ケーキなど様々な飲み物やスイーツがある。しかし時には抹茶や和菓子で、静かでゆったりとした昔と変わらぬ安らかなひとときを過ごし、いつもの暮らしに戻る。人それぞれに、それぞれの方法で一息ついてみて、いかがでしょうか。

(渡部 尚美)



遷宮で結ぶ人の輪心の輪  
 第六十二回神宮式年遷宮

# 神輿修復 莊嚴なる姿蘇る

寒川神社の神輿は昭和五十年、宮山氏子各位のご浄財により再建され奉納されましたが、塩水により漆や金具の腐食や本体の歪み等損傷が見受けられた為、三十五年振りに大改修される事となりました。

昨年十月に製作元の宮本卯之助商店に引き渡され総て分解し、修繕がなされておりましたが、修復作業も予定通り進捗し、無事納められる運びとなりました。

去る六月三日早朝、当神社第一駐車場に到着、宮山

神輿愛好会の皆様により裝飾され、清祓いがなされた後、担がれて本殿前に着御奉告祭が行われました。

修復された神輿の漆や金具は光輝き、再建された当時の莊嚴優美な姿が蘇りました。

今回の修復にあたり、御協賛頂きました氏子の方々には誌上より厚く御礼を申し上げます。



▶修復され光輝く神輿



担がれて御本殿へ



清祓の儀

## 責任役員退任にあたり



前寒川神社責任役員  
大川 静男

去る五月末日をもちまして寒川神社責任役員の職を退任致しました。平成十七年七月一日より七年間に亘り御奉仕させて頂いたいただき、その重責を今日まで恙無く御奉仕が出来ましたのも、偏に宮司様・責任役員、総代、氏子・崇敬者の皆様の御指導と御支援のお陰と厚くお礼申し上げます。また、職員の方々にも公私共にご厚誼いただき感謝致しております。

誠に恐縮ながら、任期半ばで退任を申し出ましたのは、最近特に足腰が弱り、万一にも神社の祭典等に失礼があつてはならないと考えたからです。

寒川神社は、相模國一之宮として古くより地域住民の崇敬を集め、また全国各地から多くの皆様が参拝されるお社です。地域の貴船大神の責任役員や自治会長の経験はありましたが、より広い視野に立つての奉仕が望まれる寒川神社で、どれだけ氏子・崇敬者の皆様の信仰に叶う奉仕ができるのか自問自答の毎日でした。

在任中を振り返りますと、毎年実施された団体での伊勢参拝旅行は感慨深い思い出です。特に大きな出来事は、平成二十一年三月、多田宮司の御勇退に伴い利根禰宜が宮司に御就任されました。多田宮司により着工された神嶽山神苑の大工事も利根宮司に引き継がれ、その年六月には予定通り立派な庭園が竣功し、現在皆様と和やかなひと時をお過ごし頂いている様子は喜ばしい限りです。その後も二の鳥居の耐震補強を兼ねた改修工事、また昨年十二月には太鼓橋改築工事が竣功致しました。合わせて人形奉斎殿の新設、古いお札を納める新納札殿も去る三月竣功されました。微力ながらこれらの大事業に關わらせて頂きましたこと心より幸せに存じます。これからも数々の諸事業が行われるものと存じます。今後は身近な氏子として神社の発展に尽くしてまいりたいと存じます。

長年のご支援に対し衷心より感謝を申し上げ、退任の御挨拶と致します。

# 浜降祭迫る



## 寒川神社 御神幸時間表

七月十六日(月) 海の日

午前 二時三〇分 発輿祭

引き続き 社頭発輿

三時四〇分 一之宮御通過

四時五〇分 田端(神輿を車輻に奉安)

五時三〇分 国道一三四号線西浜交差点(昇輿)

六時〇〇分 南湖浜祭場着御

七時〇〇分 浜降祭祭典齋行

祭典終了後 祭場発輿

八時三〇分 国道一三四号線(神輿を車輻に奉安)

九時一〇分 田端行在所供饌祭

九時四五分 一之宮行在所供饌祭

十時一五分 寒川神社御旅所祭

社頭還幸

### ◎ 暁の祭典

## 浜降祭

七月十六日(月)

神奈川県無形民俗文化財に指定され、湘南地方に本格的な夏の到来を告げる暁の祭典「浜降祭」が海の日(七月第三月曜日)に斎行されます。七月十六日(月)の早朝より御祭主寒川神社の神輿

を始め、寒川町内や茅ヶ崎市内に鎮座する各神社の神輿約四十基が茅ヶ崎南湖の浜に参集し、合同祭典が行われ、国家安泰・五穀豊穡・大漁満足が祈願されます。

寒川神社の御旅所である商工会館では、巫女により舞が奉奏されるほか、被災地の早期復興を祈念した横断幕を先頭に、神輿が参道を練り歩き、社頭に還幸いたします。

### ◎ 浜降祭古式祭

七月十五日(日)

午前八時半

浜降祭は江戸時代から行われ、明治九年よりは毎年七月十五日に斎行されておりましたが、平成九年「海の日(七月第三月曜日)」に変更されました。この由緒ある日を後世に伝える為、古式祭が執行されます。

### ◎ 虫送り祭

七月十七日(火)

午前十一時

これから生育する農作物に害をもたらす病害虫を追い払い、天災にも見舞われず、稔り豊かな秋を迎えられるよう祈る祭事で、生産組合長参列のもと、豊作が祈念された神札が各農家に頒かたれます。

## 暑中お見舞

申し上げます

宗教法人寒川神社

### 責任役員

横溝 隆義 市川 元久

関根 晃 入澤 一三

藤沢 賢一 伊藤 留治

小林 亮 山田 文夫

飯田 誠 根本 康明

山上 貞夫 藤田 善三

青木 治三 高橋 春吉

金子 昭 大川 静男

中島 啓介

副総代長 小菅 弘高

総代 新屋 幸次 中島 明

伊澤 健治 牛木 喜一

金子 脩 野口 勇

小菅 年男 佐々木 一士

金子 篤史 関根 隆

松尾 新吾 宇田川 昇

林 政雄 中村 昭雄

高橋 政雄





# 古事記編纂一三〇〇年記念

## 「平野啓子語りの世界〜天・空・宙〜」

さらさらさら

寒川神社では古事記編纂一三〇〇年を記念し、語り部・かたりすとの平野啓子氏をお招きして、神話と古伝説の語り、を開催いたします。

また、神職と巫女による舞も奉奏されます。

日本文化の原点である神話を、神様の佇みである鎮守の森にてご観賞いただき、幽玄なる「ひととき」をお楽しみ下さい。

一、日時 平成二十四年八月十四日(火)

午後五時半 開場  
午後六時 開演

一、場所 寒川神社境内特設舞台

(荒天時 寒川総合体育館)

### 一、演目

※ 第一部 ※

地元の伝説 「御池物語」

日本最古の物語 「竹取物語」抄

脚本 平野 啓子

※ 第二部 ※

古事記編纂一三〇〇年記念

「面白すぎる古事記 ―恋する神様―」

演出 宮川 和幸

語り 平野 啓子

笛 望月美沙輔

尺八 入江 要介

演目の順番は変更になることがあります。

## 平野啓子氏 プロフィール



平野 啓子(ひらのけいこ)

語り部かたりすと、キャスター  
大阪芸術大学放送学科教授  
武蔵野大学非常勤講師(伝統文化研究)

静岡県沼津市出身。早稲田大学在学中にミス東京に選ばれる。東京都歴史文化財団職員を経て、「NHKニュースおはよう日本」のキャスターや大河ドラマ「毛利元就」、「義経紀行」の語り、教育・伝統芸能番組等多くの番組を務める。

一方、名作・名文を暗誦する語り芸術家として舞台やテレビで活躍中。国内外で公演し、日本の文化や日本語の美しさや豊かさを紹介している。語りで震災復興応援も行っている。平成九年度文化庁芸術大賞、平成二十二年文化庁長官表彰等各賞受賞。

著書「兼好に恋して徒然草に学ぶ」(あすとろ出版)、語りCD「藪の中/山月記」(ユニバーサルミュージック)、新刊DVD「瀬戸内寂聴 源氏物語の男君たち」語り(アネック)「平家物語」(祇王(ハゴロモ))等多数刊行。  
政府委員会委員等公職を歴任し、本年、平成二十四年度日本ユネスコ国内委員会初代広報大使就任。

### お詫び

古事記編纂一三〇〇年記念公演には、東儀秀樹氏にも出演頂く予定でしたが、都合により中止とさせて頂きます。ここにこの報告をさせて頂きますと共に、お詫び申し上げます。

### 申込方法

往復葉書に左記の要領にて記入し、投函下さい。

七月一日の消印より有効です。(先着二〇〇〇名様)

#### 《往信》

253-0195  
神奈川県藤原郡寒川町  
寒川神社 富士三九六  
古事記係

住所  
氏名  
年齢  
.....  
.....  
.....

#### 《返信》

郵便番号  
〒〇〇〇〇〇〇  
〇〇〇〇〇〇様  
〇〇〇〇〇〇様  
〇〇〇〇〇〇様  
〇〇〇〇〇〇様

裏面は記入なしで  
お申し込み下さい。

(仮称) 管理棟新築工事  
地鎮祭執行

去る六月二十日、(仮称)管理棟新築工事の地鎮祭が客殿東側にて執行されました。

この工事は、今まで使用してきた神苑課棟・用務員棟の経年劣化に加え、受変

電設備・自家発電設備の対応年数が超過している為、安全面と安定した電力供給を考慮し行われるもので、平成二十五年十月に竣功を迎える予定です。  
完成すると延床面積約一



完成予想図



地鎮祭

二〇〇㎡、地上二階地下一階建てとなり、電源施設の更新、神苑課事務室、用務員作業所、備品保管庫、装束室、祭器具庫の拡張の他、防災倉庫や図書室、研究室等も新設され、作業の効率化が期待されています。



草刈初めを奉仕する宮司

全総代会開催



六月一日、神社運営にご尽力頂く寒川神社の総代により組織される「全総代会」が開催されました。

当日は市川元久責任役員が議長に選出され、社務報告、本年度会計の補正予算次年度予算等について詳細な報告がなされました。

また、新しく責任役員に就任された、入澤一三氏が紹介され、委嘱状が手渡されました。

宮山神興愛好会  
お田植祭執行

去る六月十七日、宮山神興愛好会のお田植え祭りが会員多数参列のもと、神饌田にて執行されました。

田の畦道に祭壇を設け、本年も豊かな実りと収穫が迎えられ、寒川神社と伊勢の神宮に無事奉納できますよう祈念されました。

祭典終了後は、会員により手植えにて苗が整然と植え付けられました。





◆青少年活動だより

# BS寒川第二団 恒例 田植え大作戦

六月十日、恒例の田植えが実施されました。団員さんから苗の植え方を教わり、田の中に素足を踏みいれます。「冷たい」「ぬるぬるする」「歩けない」この言葉も毎年恒例です。神饌田の大きさは一反、今年は水量が多くせっかく植えた早苗が浮いてしまう



など、ハプニングもありましたが、スカウト達は横一列に並び懸命に苗を植えて行きました。



## 境内整備事業

### 「太鼓橋改築」 工事奉賛者芳名

左記の方々より赤誠溢れるご奉賛を賜りました。  
誌上より厚く御礼申し上げます。

【平成二十四年五月奉賛者】(敬称略)

五万円	(株)サンビック	茨城県つくば市	田原敏子	横浜市瀬谷区
〃	小山好子	東京都町田市	猪熊則宏	平塚市めぐみが丘
〃	小山恵美子	東京都町田市	加藤正夫	東京都板橋区
〃	(株)扶桑	茨城県つくば市	諏訪憲史	東京都世田谷区
〃	山野ふさ江	静岡県富士市	小菅卓藏	横浜市鶴見区
三万円	佐藤正人	東京都江東区	鈴木多郎	東京都北区
二万円	橋本京子	横浜市鶴見区	鈴木三郎	横須賀市衣笠栄町
〃	梅原妙子	東京都渋谷区	田代静歩	東京都八王子市
〃	竹中みち子	千葉県木更津市	前橋花帆	横浜市港南区
〃	西田和子	川崎市多摩区	佐藤一也	千葉県香取郡
〃			中村磨文	横浜市旭区
〃			利岡光一郎	千葉県千葉市
〃			駒込文一	石川県金沢市
〃			駒込貴子	東京都東大和市
〃			久永昌	東京都東大和市
〃			糟谷忠男	海老名市中央
〃			大塚忠雄	横浜市保土ヶ谷区
〃			小曾根君子	東京都文京区
〃			石岡陽代	千葉県野田市
〃				東京都江戸川区

結婚式ご案内会開催

平成24年  
**7月29日** [日] 10:00~17:00

- ◇ 衣裳、美容体験 10:00~
- ◇ 音楽生演奏 11:00~
- ◇ 挙式セミナー 11:30~
- ◇ 奉告の儀 11:50~
- ◇ 模擬挙式 12:30~
- ◇ 模擬披露宴 13:15~
- ◆ 各種相談コーナー (随時)
- ◆ カラーコーディネート (随時)
- ◆ 人力車試乗体験 (随時)
- ★ レストラン「青葉」での食事券付き!

## 寒川神社参集殿

悠久の時の流れで、  
紡がれる心。  
寒川神社の深く豊かな神の社も、  
荘厳な御社殿も、  
自然にまぎれてきた。

わたしたち日本人そのもの。

## 七五三衣裳 大展示会

7月21日(土)・7月22日(日)  
8月25日(土)・8月26日(日)  
9月1日(土)・9月2日(日)  
9月8日(土)・9月9日(日)

上記日以外にも衣裳展示有ります  
ご来殿心よりお待ちしております

寒川神社参集殿 ご予約・お問い合わせは **0467-75-5555**

433

健康手帳

### サプリメントもほっぽりこ



宗教法人 寒川神社 寒川病院

医局長 木勢 佳史

最近サプリメントと称して様々な健康食品が出回っています。そのほとんどがビタミン剤です。ビタミンは、別名、補酵素とも呼ばれ、非常に微量ですが、それがないと色々な症状を起こす物質です。中世の時代、長期に亘る船上生活を強いられる船乗りや砂漠の民に野菜由来のビタミン不足で起こる脚気や壊血病は、原因不明の難病として恐れられました。またビタミンA不足では暗所で見えなくなる鳥目、ビタミンD不足では骨格形成不全によりくる病の起こることが知られています。もちろん、食生活の不自由がない現代、そのような病態が起こることは稀れで、かなりの偏食でない限り起こりません。しかし

アルコール依存症ではビタミンB1不足の起こることが多く不可逆的な脳障害であるウエルニケ脳症を起こすことが知られ注意が必要です。ビタミンには大きく分けて水溶性のビタミンB、Cと脂溶性のビタミンA、D、E、Kに分けられ、水溶性のビタミンは過剰摂取しても尿から排泄されるのに、脂溶性のビタミンは排泄されにくく中毒を起こすことが知られています。ビタミンEは抗がん作用や老化防止の効果があることも知られていますが、過剰投与では健康を害する可能性を秘めています。また緑黄色野菜の摂り過ぎでも、カロチン(ビタミンA)の皮膚への沈着により、皮膚が黄疸

のように黄色くなることもあります。これは、みかんの食べ過ぎでも起こる現象です。ビタミンCは組織修復に役立ち、昔からしみ、ソバカス予防としても服用されてきました。また止血作用もあり、水溶性であり過剰量は尿から排泄され、摂り過ぎに問題ないといわれていましたが、最近、過剰の摂り過ぎは腎結石の危険因子となる報告があります。

「サプリメント」に、健康状態改善の望みを託す気持ちはわかりますが、何でも摂りすぎは問題です。逆に大昔から毒と思われていたものが微量であれば、非常に良い薬になるというのも心疾患に使用するジギタリスのように知られています。

ビタミンのように、目立たず、居ないと困るような存在という生き方も良いものです。



## 人事

### ◆退職

△寒川病院▽

理学療法士 白井 庸子  
 願いに依り職を免ずる  
 平成二十四年六月三十日

△神恵苑▽

看護師 秋澤 栄子  
 介護福祉士 迫 明美  
 介護職員 長岡 直美

### ◆新採用

△寒川病院▽

看護補助者 角田 聡子  
 寒川病院勤務を命ずる  
 平成二十四年七月一日

△神恵苑▽

介護福祉士 安田 孝子  
 神恵苑勤務を命ずる  
 平成二十四年七月一日

## 神蔵山神苑

日本庭園は、小雨がしとしと降る時が一番よろしい。緑の葉や苔はみずみずしく、たたずむ石はいつもと違う顔を覗かせる。「和の道」をゆっくり歩いて「和の心」を取り戻し、清々しい毎日を過ごして頂きたい。



神苑を彩る撫子の花

## 医療講演会のご案内

とき 七月二十六日(木) 午後二時～三時  
 ところ 寒川神社 参集殿 **入場無料(申込不要)**  
 内容 「変形性膝関節症のリハビリ」  
 講師 理学療法士 加藤 幸弘  
 問合せ 電話 〇四六七(七五)六六八〇  
 寒川病院

きく川俳壇

校長も課外授業の田植かな  
一灯を川面に放つ鮎の宿  
白と言う美しき色更衣

ゴンドラのゆらりと青葉若葉かな  
梅雨寒や下宿人めく妻の留守  
扁額の誰にも読めぬ夏座敷

走り梅雨こむら返りで目覚めけり  
六月や乳房の赤き孕み山羊  
風化した句碑に咲きたる苔の花

今は無き生家の跡や桐の花  
葉の色に始まる毬や七変化  
あぢさゐを樽に咲かせて漁師町

ひっかけて揺すつてたいたいて梅落とす  
青梅を太らす日差し授かりぬ  
曲線を描き消えたる恋螢

代掻に群がる鷺の白さかな  
一瞬に夏寒覚え天体ショー  
あじさいに明るくさせる庭のすみ

投げ苗の一つが母に当りけり  
植田みな白馬岳映して輝やけり  
早暁に国府祭かな太鼓の音

燕の巣尾つばばかりが見えにけり  
十葉の白さを煽りローカル



- 金指 月光
- 相原 白路
- 菅沼うめの
- 市本 益子
- 飛石 権花
- 金子 つぢ
- 山本 朝子
- 根岸 君子
- 倉谷 節子
- 岩田美代子
- 菅沼 保幸
- 芹沢 徳光
- 竹村真砂美
- 松本美智子
- 露木てる子
- 原野 楽天
- 宮入 つる
- 皆川志んこ
- 岡田風呂釜
- 伊藤 公一
- 四ツ車梢月
- 松村 信篤
- 千葉 静香

七月 手水舎奉掲

昭憲皇太后御歌

かぎりなき、大海原を見わたせば  
心もとほく、ゆくこころせり

相模詠草

ホタルイカ新筍の酔味噌和え先取りの初夏舌にほころぶ  
十五年経つたらきつと戻ります元気でいてねと転勤する人  
その人の立場に立ちて慮るを心掛けたし人の世に在て

春の日に家族で回る墓参り香華を手向け心安らぐ  
病窓に赤芽かゞやき国旗市旗翩翩たるよ季は早や萌ゆる

蠟梅の花にとどまる雨粒がはなびら色にふくらみてゐる  
先がけて春のことぶれ小手まりの細枝がすかに芽吹きて来たり

孫からのお誕生日のメッセージ「笑顔がいちばんきれいだよ」  
遠からず何処からともなく流れる甘い匂いの白い沈丁花

春の空昨日青空今日風変わる速さに桜も涙す  
あまた咲く三つ極毬花喜びの弾めるように風にゆれおり

今生の桜と一人ふり仰ぐ白き花なり真にさびし系  
献歌三首(故 吉田マツ子さん)

直裁にもの申されし吉田マツ子さん逝きませり桜ふぶける中を  
思わざる訃報の知らせ吉田さん桜花びら一ひら散る宵

「野ばら会继续てね」と吉田さんから電話あり次の日他界の報に驚く

山根喜美代  
亀山 文子  
安藤 慧  
川島恵美子  
吉田マツ子  
堀江 照子  
宇田川時子  
土屋トミ子  
浜田 寿子  
山口 幸子  
岡元 芳子  
杉本 照世



- 宇田川時子
- 岡元 芳子
- 亀山 文子

表紙写真説明

編集後記

浜祭典 南湖の浜に集結し  
た三十余基に及ぶ相州神輿

涼しい夏、暖かい冬が私  
達の理想ですが、我が国の

風土では暑く寝苦しい夏が訪れる事でしょう。  
但し、異常な夏にはならないよう願うばかりです。